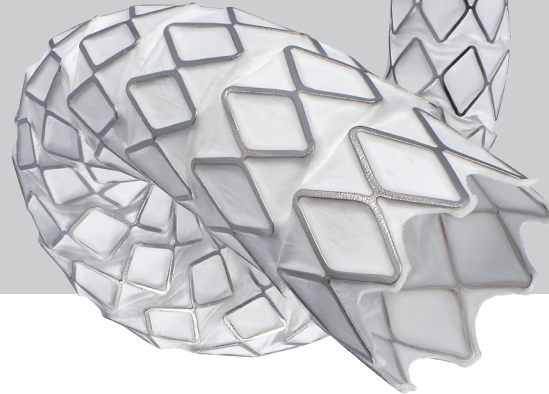


CASE REPORT : Iliac

ゴア® バイアバーン® VBX
バルーン拡張型ステントグラフト

GORE® VIABAHN® VBX
Balloon Expandable
Endoprosthesis



両側高度石灰化総腸骨動脈病変に対して Dual Radial Approachで ゴア® バイアバーン® VBXバルーン拡張型 ステントグラフトを留置した一例



曾我 芳光先生
小倉記念病院 循環器内科

複雑病変に対する両側橈骨動脈アプローチが可能であった ロープロファイルVBX ステントグラフト

大動脈遠位端から腸骨動脈にかけての連続性高度石灰化病変の治療に関しては、血管破裂のリスクを考慮してステントグラフトによるキッシングステントが考慮される。その場合、両鼠経部アプローチや橈骨動脈と鼠径部アプローチが多く用いられる。今回、ロープロファイルVBXステントグラフト（BXBで始まる品番）を用いて、両側橈骨動脈アプローチでキッシングステントを行った。ロープロファイルVBXステントグラフトは79 mm長のステントグラフトまで6 Frシース対応で、かつ、経橈骨動脈インターベンション（Trans Radial Intervention : TRI）でもスムーズなデリバリーが可能であった。

TRIにより、術後安静臥床からの解放と出血性合併症の低減から早期退院が可能であり、高齢者や出血リスクの高い患者に対しても有効性が高いと考えられた。

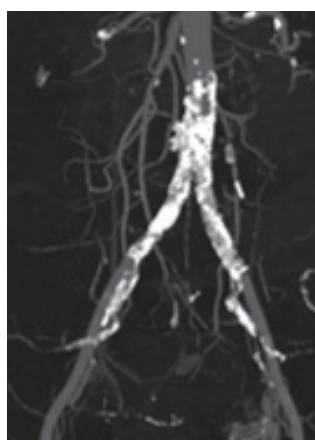


図1 術前コンピューター断層撮影 (CT)

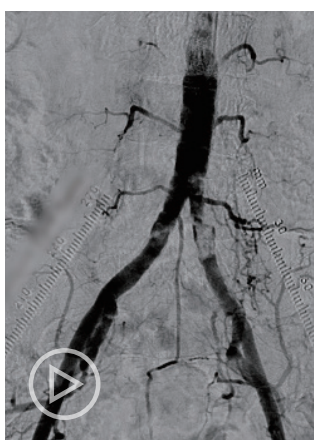


図2 術前造影

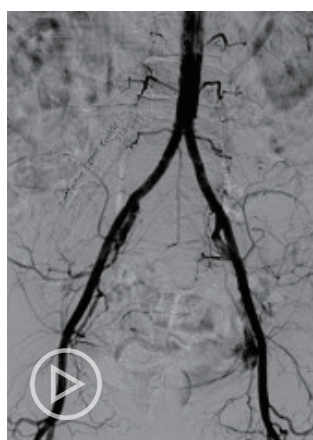


図3 術後造影



図4 Dual Radial Approach

患者背景

- ・年齢：78歳
- ・主訴：両側間欠性跛行
- ・対象病変部位：両側総腸骨動脈
- ・リスク因子：2型糖尿病、高血圧
- ・既往歴：大動脈弁置換術、腰部脊柱管狭窄症

使用デバイス

- ・アプローチ：両側橈骨動脈
- ・シース：ガイディングシース6 Fr × 110 cm
- ・前拡張バルーン：スコアリングバルーン7.0 × 40mm
- ・ステントグラフト：右7.0 × 79 mm (BXB077902J)
左7.0 × 79 mm (BXB077902J)
- ・後拡張バルーン：高耐圧バルーン 右8.0 × 40 mm
左8.0 × 40 mm

治療戦略、治療内容

術前のCT (図1) と下肢造影 (図2) より、大動脈遠位端の偏心性石灰化狭窄、右総腸骨動脈 (CIA) の石灰化狭窄、左CIAの石灰化重閉塞を認めた。大動脈からCIAの石灰化病変は連続しており、大動脈から両側CIAにかけてのキッシングステントが望ましいと判断した。腰痛が強く、術後安静が困難であるため両側橈骨動脈アプローチとした。

両側橈骨動脈より順行性に両側CIAにガイドワイヤーを通過させた。病変は偏心性石灰化でバルーン拡張により血管破裂のリスクがあることからVBXステントグラフト7.0 × 79 mm (6 Fr) を選択した。両側橈骨動脈からのアプローチにより (図4) スコアリングバルーンによる前拡張後 (図5,6)、VBXステントグラフトを留置し (図4,7)、後拡張として高耐圧バルーン8.0 × 40 mmでキッシングバルーンテクニック (KBT) を行った (図8)。この際に迷走神経反射により心拍数が39回/分となったことから、これ以上の径での拡張は危険と判断し、手技を終了した。VBXステントグラフト留置後 (図9) と術後造影 (図3) では良好な血流が確認された。

両側橈骨動脈アプローチによる合併症も無く、翌日の血管エコーでは、両側橈骨動脈の開存を確認した。

足関節上腕血圧比 (ABI) は術前は右0.97左0.61が、術後は右1.15左1.11へと改善が確認された。

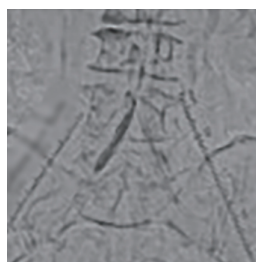


図5 右総腸骨動脈前拡張
スコアリングバルーン
7.0 × 40 mm

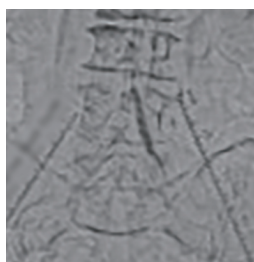


図6 左総腸骨動脈前拡張
スコアリングバルーン
7.0 × 40 mm



図7 両総腸骨動脈
ロープロファイル
VBXステントグラフト
7.0 × 79 mm × 2本

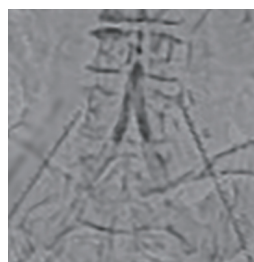


図8 両総腸骨動脈
KBT
8.0 × 40 mm × 2本

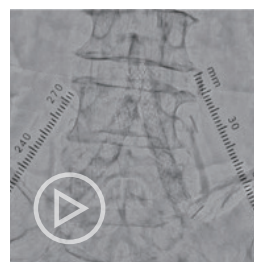


図9 VBXステントグラフト留置後



▲一連の動画再生はこちら

販売名：ゴア® バイアバーン® VBX バルーン拡張型ステントグラフト 承認番号：229008ZX00309000 一般的名称：ヘパリン使用中心循環系ステントグラフト

本資料は医療関係者向けです。それ以外の方への再配布はご遠慮ください。全ての禁忌、警告、使用上の注意および有害事象に関する詳細は電子化された添付文書（電子添文）を必ずご参照ください。

本資料に示される情報は完全なものではなく、すべての症例に適用できるものではありません。また、電子添文および各症例に関する医療関係者の専門的な判断の代替となるものでもありません。各患者への医療行為に関するすべての判断は、それを行う各医療関係者の責任に属するものであり、当社はこれらに関する判断、助言等を行うものではありません。

ゴア、GORE、Together, improving life、バイアバーン、ブイビーエックス、VBX、VIABAHNおよび記載のデザイン（ロゴ）は、W. L. Gore & Associatesの商標です。その他すべての商標に関する権利は、各権利者に帰属します。

© 2025 W. L. Gore & Associates, Inc. / 日本ゴア合同会社 25PL3021-JA01 JUNE 2025

製造元 W. L. Gore & Associates, Inc.

製造販売元 **日本ゴア合同会社**
メディカル・プロダクツ・ディビジョン

〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル
T 03 6746 2560 F 03 6746 2561 goremedical.com/jp

